

心豊かな

男女共同参画社会の

実現をめざして

近年の少子・高齢社会の進行や社会経済情勢などの急速な変化によって私たちを取り巻く社会は、大きく変化してきています。

こうした状況や変化に対応し、活力ある心豊かな岡谷市を築いていくために、市民のみなさんや事業所のみなさん、教育関係者のみなさんと市が協働し、女性も、男性も一人ひとりが、その個性や能力を十分に発揮できる男女共同参画社会の実現をめざしてこうと、昨年4月1日に岡谷市男女共同参画条例が制定されました。



男女共同参画社会とは

女性も男性もお互いの人権を尊重し、喜びも責任も共にわかち合い、「男だから」「女だから」という性別にとらわれることなく、それぞれの個性や能力を十分に発揮することができる心豊かな社会のことです。

私たちが本当に心豊かな社会を実現していくためには、「男性は

仕事中心、女性は家事、育児、そして介護」などといったような、いわゆる性別による役割分担を改めていく必要があります。

男女共同参画推進

市民の会ってどんな会？

誰もが個人として尊重され、個性と能力を十分に発揮できる男女共同参画社会を一步一步実現するための活動をしています。

男女共同参画推進

市民の会発足の経過

県の男女共同参画コミュニケーション15人が中心となり、当時の女性市議会議員さんの協力を得て市に働きかけ、生涯学習企画課で募集をしたところ、男女共同参画を市民の手で進めていこうという意欲あふれる23名により、平成14年6月に「岡谷市男女共同参画推進市民会議」としてスタートしました。

主な活動

①男女共同参画推進のための市広報掲載等啓発活動



たかる共同参画男女とぴとあい

- ②男女共同参画社会づくりに関する学習や研修会
 - ③地域社会における男女共同参画推進活動
 - ④市の主催するフォーラム等への参画と男女共同参画を推進するための調査・研究
 - ⑤市との協働による男女共同参画計画の推進
- 今年で3年目を迎え、名称も「岡谷市男女共同参画推進市民の会」と変更し、新会員の募集受付も随時行っています。あなたも、ぜひご参加ください。
(申込み・生涯学習企画課へ)

最近の活動は？

平成16年12月2日に、「地域(区)の行政に参加してみよう」と題して、市内各地区の27名の女性区会議員さんと、8名の区長(副区長)さんが参加され懇談会を開催しました。

岡谷市21地区の女性区会議員の割合は平成13年度の6.2%から、平成16年度は9.9%と少しづつ増えています。まだ女性区会議員が一人もいない区が4区あります。女性区会議員の多い地区は小井川5名、下浜5名、今井、上浜、新屋敷、新倉、橋原は各3名です。(表参照)

女性区会議員さんからは次のようなご意見が出されました。



「区政に参画してみよう」

◇女性区会議員第1号として選出されたので「女性だからと甘えてはいけない」と思い、山仕事や御柱の山出しから参加し貴重な体験をしました。

◇男女とも意識改革が必要だと感じています。

◇家族の理解が必要です。

◇区政に対してなかなか発言、意見が言えません。

◇女性ももっと多くなれば変わるかもしれないと感じます。

「女性区会議員を増やすには」

◇女性みんなで出したい人を推薦する方法も良いのでは。

◇女性が勇気を出して一歩踏み出しましょう。

◇女性区会議員のOBが次の人を探して推薦しています。

◇区政の勉強会などをして種を蒔くこと。

区長(副区長)さんからも次のような感想をいただきました！

◇区によって実情がちがうが、決して女性を拒否している訳ではないので積極的に出ていただきたい。

◇活発なご意見を聞いて参考にになりました。あて職の人も区会議員は「議決権」があることを認識してほしいと思います。

◇区民一人ひとりが区を良くする気持ちでいてほしい。

◇女性の立場からのきめ細かい視点での発言があつて良いと思います。

◇あて職だと単なる役目と感じている人が多く弊害を感じています。女性が意思を結束し立候補してほしい。



男女共同参画講座

「生き方 働き方の新しい風」を開催しました！

昨年12月14日 イルプラザカルチャーセンターにて、「生き方 働き方の新しい風」と題して、Actfam人材開発研究所長 田中直子先生の講演会を開催しました。

先生の提言として…

- ・ハッピーミディアム(中くらい)に行(生)きましょう。元気になりますよ！
- ・アンペイドワーク(家事・育児・介護など収入がない仕事)も立派な仕事です。
- ・家事は家族の誰もが出来るような仕組みをつくと担当が軽くなります。
- ・自分の楽しみを後回しにしないようにしましょう。
- ・自分の「できる」「したい」「ねばならない」の三つを、どう折合いつけていくかが大切です。
- ・今、自分の価値観や考えていることを言葉にしてみると、いろいろなことが見えてきます。

働き方の新しい風」講師 田中直子氏



田中先生の提言を
実行してみましよう！

表

平成16年度 市内21区の女性区会議員の状況

区名	区議員数	内女性議員数	女性比率
今井	24	3	12.5
間下	22	2	9.1
岡谷	20	0	0.0
下浜	20	5	25.0
小尾口	12	2	16.7
上浜	18	3	16.7
新屋敷	18	3	16.7
小口	25	4	16.0
小井川	29	5	17.2
西堀	16	1	6.3
小坂	20	2	10.0
花岡	16	0	0.0
三沢	18	1	5.6
新倉	27	3	11.1
駒沢	12	1	16.7
鮎沢	10	0	0.0
橋原	30	3	10.0
東堀	30	0	0.0
中屋	19	2	10.5
中村	21	2	9.5
横川	26	1	3.8
合計	433	43	9.9

◆男女共同参画についての

生涯学習企画課

お問い合わせは…

☎23-4811(内線1459)

行政評価システムを

本格導入しました！

より効果的・効率的な市政運営を目指して、「行政評価システム」を本格導入しました。
今年度は、平成15年度に実施した全ての事務事業について、「事務事業評価」を行いました。



行政評価とは？

行政評価とは、行政サービスの効果について、客観的な評価を行い、その評価結果に基づいた改善を次の企画立案、実施に反映させることにより、効果的・効率的な市政運営を図っていくものです。

民間企業の経営管理手法である Plan-Do-Check-Action (PDCA) マネジメントサイクルを実施し、市民満足度の向上を目指します。



導入目的

岡谷市では、次に掲げる3つの目的に重点を置いて、行政評価システムを導入しました。

① 職員の意識改革・政策形成能力

の向上

② 事務事業執行の改革改善

③ 重要性の低い事業の休廃止・事業の優先順位付け

(事業の休廃止や優先順位付けには、いくつかの事務事業を括った施策評価が必要となりますが、施策評価は、平成18年度実施を目指して準備を進めています)



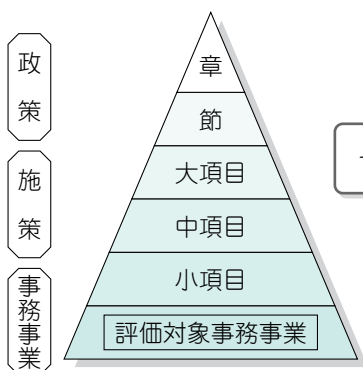
平成16年度におこなった実施内容

1 事務事業評価の本格実施

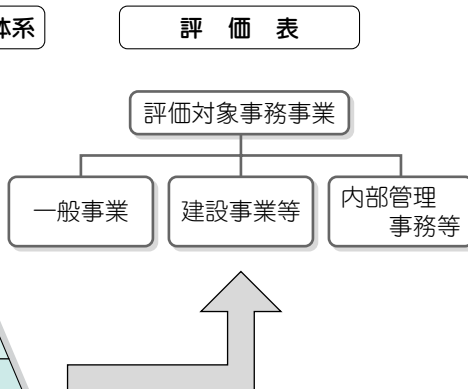
今年度は、第3次岡谷市総合計画の目的体系に沿って整理した全事務事業に対する「事務事業評価」を本格実施しました。

評価は、事務事業の性格に応じて「一般事業」、「建設事業等」および「内部管理事務等」の3種類の評価表を用いて実施しました。

第3次岡谷市総合計画目的体系



評価表



2 評価対象事務事業について

平成15年度に実施した、787事務事業について評価しました。

<改善例>

章 ^{※1}	事務事業名	事務事業の問題点、改善の内容
中核的機能を担う拠点都市をめざして	ホームページ管理事業	<p><問題点></p> <ul style="list-style-type: none"> 多くの家庭にパソコンが普及し、より多くの住民に行政情報を提供することが課題である。新鮮味のあるページづくりと共に、高齢者や障害者にも配慮したバリアフリー化^{※2}が必要である。 <p><改善の内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 高齢者や障害者の利便性を高めるため、ホームページのバリアフリー化を図る。
快適で安全な定住都市をめざして	じんがい塵芥収集指導、啓発事業	<p><問題点></p> <ul style="list-style-type: none"> 分別の方法が細くなり、電話等による問い合わせが多い。また、ごみの分け方出し方のチラシにすべてを掲載しきれなくなっている。 <p><改善の内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ごみ収集カレンダーと出し方分け方のチラシを別に作成する。分別ガイドブックを作成する。 アパートの入居者のルール徹底のため、不動産業者を通じ、ごみの分け方出し方のチラシを契約の際入居者に配布してもらう。
	犬の登録・狂犬病予防注射実施事業	<p><問題点></p> <ul style="list-style-type: none"> 予防注射済頭数については、減傾向にあり、注射を受けない飼い主に対する指導を図る必要がある。 <p><改善の内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 従来、平日のみ実施してきた巡回を、予防注射を受ける機会を増やすため、土日も含めて実施することが可能か検討する。
豊かな心とかがおり高い文化を育む生涯学習都市をめざして	市民水泳プール維持管理事業	<p><問題点></p> <ul style="list-style-type: none"> 平成16年度からプール監視業務の委託を実施していくが、委託業者との業務の引継ぎを確実にし、今後のコストの縮減等に結び付けていく必要がある。 <p><改善の内容></p> <ul style="list-style-type: none"> プール監視業務等の業務委託を行う。16年度は委託に向けた過渡期のため、コスト圧縮はまだ達成されないが、17年度からは確実にコスト縮減につながるものと予想される。サッシ改修により、水温、室温の安定的管理が可能となり、省エネにつながるものと予想される。
市民と行政の連携による計画の推進	広報発行事業	<p><問題点></p> <ul style="list-style-type: none"> いかに読んでもらうかを重点に、カラー化、ビジュアル化^{※3}、編集技術の向上などにより、読みやすい紙面づくりが求められている。 <p><改善の内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 表紙と裏表紙を毎号カラー化するとともに、写真やイラスト、図形などを取り入れ、市民が読んでみたくなるような紙面づくりにより、情報提供がより一層図られる。

※1 「章」…第3次岡谷市総合計画に掲げた「章」。

※2 「バリアフリー化」…バリア（障壁、障害）を取り除くようにすること。

※3 「ビジュアル化」…視覚に訴えるようにすること。



1 事務事業の改善

「事務事業評価」は、行政評価システムの導入目的の一つである。「事務事業執行の改革改善」を主な狙いとして実施しました。事務事業の評価を行い、問題点を把握し改善に繋げました。改善例は左表のとおりです。

2 職員の意識改革

今年度の事務事業評価の本格実施は、職員の顧客志向^{※4}による意識改革のきっかけとなり、一定の成果はあったものと考えます。職員の顧客志向は、一朝一夕に身に付き、定着するものではありません。今後も、行政評価システムを継続的に運用すると共に、職員研修の充実を図るなどして、職員の意識改革をより一層進めていきます。



※4 「顧客志向」：行政サービスを受ける市民のみなさんを顧客として捉え、市民本位の効果的・効率的な行政経営によって、市政の主役である市民のみなさんの満足度向上を目指すといった考え方。



評価の結果（評価表）は、市のホームページ、情報公開コーナーでご覧いただけます。市民のみなさんのご意見をお寄せください。



全ての事務事業について、「事務事業評価」を継続して実施します。

今後、「施策評価」（いくつかの事務事業を括った「施策」の評価）、「外部評価」（市民の方、あるいは専門性を有する第三者による評価）の準備を進め、平成18年度の実施を目指します。

◆行政評価に関するお問い合わせは…

行政改革推進室

☎23-4811（内線1574）

～行政評価システムについての詳しい内容は、市のホームページの「岡谷市行政評価システム」をご覧ください～